

2013

創刊号

2013.5.1発行

# 文連おおとう

## 大任町文化連盟



▲ 昨年度の総合文化祭（芸能発表）の様子

### 大任町文化連盟会報 「文連おおとう」の発行に寄せて



大任町文化連盟

会長 杉原明光

昭和40年代後半、高度成長期を経た日本では、国民の関心が物質的な物から精神的なものへと移行し、文化的志向の高まりとともに「趣味」の活動が盛んになってきました。さらに50年代に入ると、我が大任町でも次々と同好会やサークルが誕生し、これらを統治する組織づくりの気運が高まってまいりました。

これを受け昭和53年9月、本町に文化連盟（当時の名称は文化団体協議会）が誕生。その歴史は本年度で35年目を迎えることとなります。発足当時は76名だった会員数も昨年度は354名とその数を大きく伸ばし、31ものサークルが参加する大きな団体として発展してきましたことは、非常に喜ばしいことであります。

しかしながら組織の肥大化は、役員・運営委員と会員との距離を遠ざけてしまった感もあります。会員でありながら、本連盟の役割や事業のことを一部しか知らない方がいるという現状を受け、情報を共有するにはどうしたらよいかという難問に頭を悩ませた結果が、この会報です。文化連盟の会長として、主催事業や総会、運営委員会での決定事項、活動状況などを紹介し、皆さんとの距離を縮める手助けになれば本望でございます。